

2018年11月30日

米国商業用不動産ローン(CML)への投資

～グループシナジーによる資産運用高度化取組み～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、グループ会社であるアセットマネジメント One USA が運用するファンドを通じて、米国における商業用不動産ローン(以下、「CML」)に1億ドル(約114億円)を投資することを決定しました。同CMLは、グループ会社である Protective Life Corporation(以下「プロテクティブ社」)が組成しており、案件組成から投資実行までのすべてのプロセスをグループ会社内で実現しています。

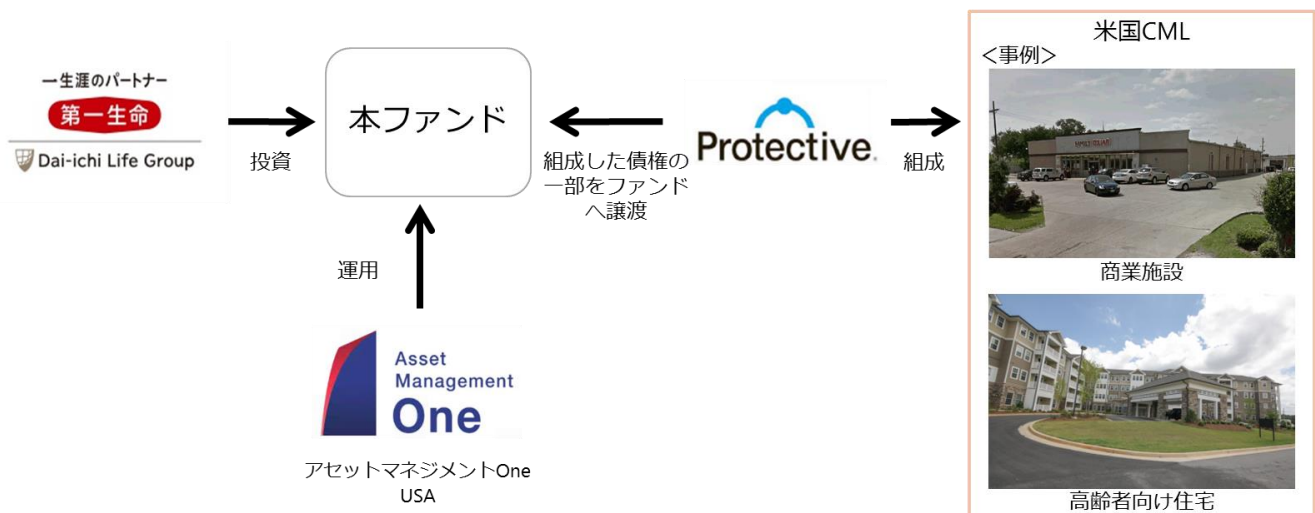
【本件のポイント】

- 米プロテクティブ社とのグループシナジーにより、更なる資産運用高度化を目指す。
- CML投資に関して50年以上の豊富な経験と高い専門性を持つプロテクティブ社を通じて、当社として初めて米国のCMLに1億ドル(約114億円)を投資する。

CMLは元本に対して十分に不動産担保を取ることで高い信用力を有しており、また同程度の信用力を持つ社債等と比較して高いリターンを獲得できる優良な資産運用手段です。プロテクティブ社は、CML運用に関して50年以上の豊富な経験と高い専門性を持つ総勢40名程度の運用プロフェッショナルを有し、全米各所のモーゲージバンク※と取引関係を構築することで、地域や物件タイプを分散して投資を行っています。

米国でのCML運用は債権保全等において高度な専門知識と経験が求められるため、CML運用に強みを持つプロテクティブ社を通じて投資を行うことで、当社は高い運用収益の獲得を目指しています。

当社は、低金利環境下における収益力向上に向けて、新規分野投資の積極的な推進等、資産運用の高度化に取り組んでいます。今後も資産運用におけるグループ会社との連携を強化し、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を目指していきます。



※ 銀行等預金金融機関以外で住宅ローンやCMLを専門に取り扱う金融機関のことを言います。プロテクティブ社は全米各所のモーゲージバンクと緊密な取引関係を構築していることから、優良な案件に優先的にアクセスでき、総額約60億ドル(約6,818億円)の頑健なCMLポートフォリオを構築しています。

<本ファンドの概要>

ファンド名称	Mercury Series US CML Fund
運用会社	Asset Management One USA Inc.
ファンド総額	100百万ドル(約114億円)
投資対象	全米各所に分散されたCML